

編著 サム・J・タングレディ
ジョージ・ガルドリン

監訳 五味睦佳
訳 大野慶二
壁村正照
木村初夫
五島浩司
杉本正彦

AI AT WAR

AI海戦

人工知能は海戦の意思決定を
どう変えるか？

監訳 五味睦佳 (元海上自衛隊 自衛艦隊司令官)

アメリカ海軍大学教授、退役提督、元国防副長官らによる
海上戦闘の变革シミュレーション。

五月書房

本書は、2021年3月に米国海軍協会出版から刊行された『AI at War: How Big Data, Artificial Intelligence, and Machine Learning Are Changing Naval Warfare』を(株)エヌ・エス・アールの役員および研究員が翻訳したものである。原書は、米国海軍大学校、元提督、元国防副長官等の米国海軍関係者が、知能時代における未来の海上戦闘(海戦)のために人工知能(AI)、機械学習、人間-機械チーム化、およびビッグデータの分析について、その特徴、限界、リスクを冷静に分析し、米国海軍の「知能化戦争」(海戦へのAI適用)を論じたものである。

目次

- 第1章 人工知能の理論と概念の歴史
- 第2章 AI、自律性、および第三のオフセット戦略
- 第3章 米国海軍省のビッグデータ、AI、および機械学習への取り組み
- 第4章 岐路に立つ米国海軍
- 第5章 潜在的な軍事敵対国のAIプログラム
- 第6章 哨戒任務における戦場の革新
- 第7章 任務指揮と意思決定の速度
- 第8章 海軍のAIの実用化
- 第9章 AIによる海軍のインテリジェンス、監視、偵察の実現方法
- 第10章 戦争の速度での通信
- 第11章 AIによる海軍の指揮統制の実現方法
- 第12章 AIと統合された射撃
- 第13章 人工知能と未来の戦力構成構想
- 第14章 未来戦へのエントリーパス
- 第15章 マハンを箱に入れてみる
- 第16章 「海上ハッキング」孫子
- 第17章 無人自律性と人間の意思決定のためのAIに対する障害の克服
- 第18章 海軍の戦略と戦術に対する人工知能の影響
- 第19章 AIの未来

編者：サム・J・タングレディ

米国海軍大学の未来戦研究のレイドス議長、未来戦研究所の所長、国家・海軍・海洋戦略の教授。米国海軍兵学校と米国海軍大学院を卒業後、南カリフォルニア大学で国際関係学の博士号を取得した。海上艦艇幹部として30年の海軍での経歴を持ち、5冊の本と150以上の論文を発表し、米国海軍協会のアーレイ・バーク賞や米国海軍連盟のアルフレッド・セイヤー・マハン賞など、14の専門著述賞を受賞した。

編 者：ジョージ・ガルドリシ

米国海軍情報戦センター太平洋の戦略評価未来技術研究所の所長。同センター入所前は、海軍飛行士としての30年の経歴を持つ。その間、米国代表団を率いて人民解放軍海軍との軍対軍の対話にも参加するとともに、小説やノンフィクション作品、専門誌への寄稿も多く、米国海軍協会『会誌』の受賞論文「海軍にはAIが必要だが、その理由を確信できないだけ」などを執筆した。

監訳者：五味睦佳

1964年防衛大学校航空工学科卒（8期）、米国海軍大学指揮課程卒。海上自衛隊自衛艦隊司令官で退官（海将）。株式会社NTTデータ顧問を経て、株式会社エヌ・エス・アール取締役、デイフェンス・リサーチ・センター研究員、株式会社エヌ・エス・アール上級研究員歴任。2022年、本書の完成を待たずに永眠、本書の監訳が最後の遺稿となった。著書に『覇権国家・中国とどう向き合うか』、『日本が中国になる日』、『東シナ海が危ない』、『最新国際関係論』、共訳書に『中国の進化する軍事戦略』、『中国の情報化戦争』、『中国の海洋強国戦略』がある。

訳 者：杉本正彦（第2、3、4、14、18章の翻訳）

1974年防衛大学校基礎工学I卒（18期）。潜水艦隊司令官、呉地方総監、自衛艦隊司令官、海上幕僚長歴任後退官（海将）。株式会社NTTデータ特別参与を経て、現在、株式会社エヌ・エス・アール取締役会長、株式会社NTTデータアドバイザー。共訳書に『中国の海洋強国戦略』がある。

訳 者：大野慶二（第9、10、11、12章の翻訳）

1982年京都工芸繊維大学工芸学研究科（電気工学）修了。現在、株式会社エヌ・エス・アール取締役。防衛省装備本部長崎支部副支部長、海上自衛隊横須賀弾薬補給所長、防衛省南関東防衛局調達部次長歴任後退官（海将補）。共訳書に『中国の進化する軍事戦略』、『中国の海洋強国戦略』がある。

訳 者：壁村正照（第15章、16章の翻訳）

1986年防衛大学校電気工学科卒（30期）。現在、株式会社エヌ・エス・アール研究員、株式会社NTTデータアドバイザー、公益財団法人偕行社現代戦研究員。フィンランド兼エストニア防衛駐在官、陸上自衛隊東北方面総監部情報部長、西部方面特科隊長、第15旅団副旅団長歴任後退官（陸将補）。共訳書に『ロシアの情報兵器としての反射統制の理論』がある。

訳 者：木村初夫（序文、序章、第1、13、17、19、終章、あとがきの翻訳）

1975年金沢大学工学部電子工学科卒。現在、株式会社エヌ・エス・アール上級研究員、株式会社NTTデータアドバイザー。1975年日本電信電話公社入社、株式会社NTTデータのナショナルセキュリティ事業部開発部長、株式会社エヌ・エス・アール代表取締役歴任。共訳書に『中国の進化する軍事戦略』、『中国の情報化戦争』、『中国の海洋強国戦略』、『知能化戦争』（解説）、『マスキロフカ』、『ロシアの情報兵器としての反射統

制の理論』がある。論文は「A2/AD 環境下におけるサイバー空間の攻撃および防御技術の動向」、「A2/AD 環境におけるサイバー電磁戦の最新動向」等がある。

訳者：五島浩司（第5、6、7、8章の翻訳）

1981年防衛大学校電気工学科卒（25期）。現在、株式会社エヌ・エス・アール研究員、株式会社NTT データアドバイザー。海上自衛隊のみょうこう艦長、防衛省弾道ミサイル防衛室調査分析チーム長、第8護衛隊司令（第1次派遣海賊対処水上部隊指揮官）、函館基地隊司令歴任後退官（海将補）。共訳書に『中国の進化する軍事戦略』、『中国の海洋強国戦略』がある。

出版社：五月書房新社

定価：6,600円（税込）

発売日：2023年3月27日